

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
法学基礎演習	藤枝 律子	講義	2		1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 5	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	現代の行政における諸問題に関して、事例研究を中心とする多様な観点から検討を試みる。まずは行政法を学ぶ上でこれだけは知っておきたいという判例、さらに最近の注目すべき判例や、テレビや新聞等で報道されるニュースを素材にしてディベート形式で議論をする。そのことによって、行政法における基本的な原理を自ら学んでいけるようにする。						
到達目標	行政法をめぐる論点・争点に対する問題意識を持てるようにし、2年次の演習へと繋げていくことを目指す。						
回	学習内容						
1	行政活動のあり方と行政法の解釈						
2	法治主義と民主主義						
3	適正手続の原則と行政手続法						
4	行政準則-法規命令						
5	行政準則-行政規則						
6	行政計画						
7	行政行為-意義と類型						
8	行政行為-司法審査						
9	行政指導						
10	行政上の実効性確保の制度						
11	国家補償-国家賠償法						
12	国家補償-損失補償						
13	行政事件訴訟法の類型						
14	行政事件訴訟法-処分性						
15	行政事件訴訟法-原告適格						
予習内容 復習内容	予習:ディベートの判例・資料を読んでおく。 復習:演習時に示す教科書の該当箇所・資料・判決文に目を通す。						
教科書	参考資料等は、各回の演習時にその都度のテーマに合わせて提示をする。						
成績評価	平常点(出席30%、ゼミでの報告や議論など70%)で総合的に評価する。						
実務経験							
その他 特記事項							